

# 久喜市議会だより

No.16

平成26年2月1日

発行/久喜市議会 編集/久喜市議会広報委員会 〒346-8501 久喜市下早見85の3 ☎ 0480(22)1111(代)  
FAX 0480(21)6061 HP <http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html> E-mail [gikai@city.kuki.lg.jp](mailto:gikai@city.kuki.lg.jp)



▲菅蒲地区人権のつどい・少年の主張大会で「よさこいソーラン」を踊る菅蒲中学校の生徒(11月30日菅蒲文化会館)

## ◇11月定例会の概要 .....(2)

久喜市保育所条例の一部を改正する条例を可決  
久喜市農業基本条例を可決

## ◇提出議案とその結果 .....(3)~(4)

市長提出 **19**件、議員提出 **2**件、請願 **1**件

## ◇議員名簿 .....(4)

## ◇本会議における討論 .....(5)

## ◇市政に対する一般質問 .....(6)~(14)

**26**人が市政を問う!!

## ◇各委員会の活動 .....(15)

## ◇請願・陳情他 .....(16)

## 2月定例会のお知らせ

平成26年2月定例会は、次の日程で開催される予定です。

月 日	内容	時刻	概 要
1月27日(月)	委員会	午前9時	議会運営委員会
2月3日(月)	本会議	午前9時	開会、施政方針演説、議案上程
2月11日(火・祝)		午前9時	施政方針に対する代表質問
2月12日(水)		午前9時	一般質問
2月13日(木)		午前9時	一般質問
2月17日(月)		午前9時	一般質問
2月18日(火)		午前9時	一般質問
2月20日(水)		本会議 委員会	午前9時 本会議終了後
2月21日(木)	委員会	午前9時	総務財政市民常任委員会・分科会
2月24日(日)		午前9時	福祉健康常任委員会・分科会
2月26日(火)		午前9時	建設上下水道常任委員会・分科会
2月27日(水)		午前9時	教育環境常任委員会・分科会
3月6日(水)	委員会	午前9時	予算決算常任委員会
	本会議	委員会終了後	討論・採決、閉会

※2月11日の施政方針に対する代表質問は休日議会となります。

# 11月定例会の概要

会期 11/28(木)～12/24(火)

平成25年11月定例会は、11月28日(木)から12月24日(火)までの27日間の会期で開催されました。

市長提出議案は、「平成25年度久喜市一般会計補正予算（第4号）について」、「久喜市保育所条例の一部を改正する条例」、「久喜市農業基本条例」をはじめ、合計19件がすべて原案どおり可決・同意されました。また、議員提出議案は、提出された2件のうち1件が原案どおり可決、1件が否決となりました。

## 【久喜市保育所条例の一部を改正する条例を可決】

11月定例会において、久喜市保育所条例の一部を改正する条例について、議会の議決を求められ、原案どおり可決しました。

### ○改正内容

- ・ さくら保育園の移転改築に伴い、所在地を「久喜市所久喜794番地の5」から「久喜市所久喜1130番地」に変更
- ・ 定員を「60人」から「70人」に変更

### ○新しい園舎になって変わること（保育サービス等）※いずれも平成26年4月から開始

保育サービス	現 行	➔	新サービス
受入年齢の拡大	1歳から就学前まで	➔	<u>0歳6か月</u> から就学前まで
延長保育の実施	時間外保育（朝） 7:30～8:30		時間外保育（朝） <u>7:00</u> ～8:30
	保育時間 8:30～16:30	➔	保育時間 8:30～16:30
	時間外保育（夕） 16:30～18:30		時間外保育（夕） 16:30～ <u>19:00</u>

## 【久喜市農業基本条例を可決】

11月定例会において、久喜市農業基本条例について、議会の議決を求められ、原案どおり可決しました。

### ○条例の概要

目 的	農業及び農村のあり方に関する基本理念及び基本理念の実現に必要な基本的な施策を定め、市の責務、農業者等の役割を明らかにし、農業及び農村に関する施策を総合的かつ計画的に推進することで、市の農業の持続的な発展及び市民生活の向上に寄与すること。
基 本 理 念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優良農地及び農業の担い手が効率的に組み合わせられるとともに、安全かつ安心な農産物が安定的に生産、供給されることにより、農業の持続的な発展を図ること。</li> <li>・ 農業の生産条件の整備及び生活環境の整備により、農村の振興を図ること。</li> </ul>
基 本 的 施 策	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 農業の生産基盤の整備を推進すること。</li> <li>② 優良農地を保全し、農地の有効利用を図ること。</li> <li>③ 農業の多様な担い手を確保し、育成すること。</li> <li>④ 地域農産物の振興及び地域農産物を生かした特産品の開発を推進すること。</li> <li>⑤ 流通体制を充実させ、地産地消及び地産外商<sup>*</sup>を推進すること。</li> <li>⑥ 都市と農村との交流を推進すること。</li> <li>⑦ 環境に配慮した農業生産を推進すること。</li> <li>⑧ 農業の維持及び農村の保全を図ること。</li> </ol>

※地産外商…市内産の農産物及び農産物加工品を市外へ積極的に販売しようとする事

# 提出議案とその結果

※付託委員会

(予) 予算決算常任委員会

(総) 総務財政市民常任委員会

(福) 福祉健康常任委員会

(議) 議会運営委員会

(建) 建設上下水道常任委員会

(教) 教育環境常任委員会

○…賛成 ×…反対 ▲…退席

飛翔……飛翔 政策……政策会議

公明……公明党久喜市議会議員団

共産……日本共産党久喜市議団

市民……市民の政治を進める会

## ●11月定例会（市長提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	市民	
議案第114号	平成25年度久喜市一般会計補正予算(第4号)について(予)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第115号	平成25年度久喜市介護保険特別会計補正予算(第2号)について(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第116号	平成25年度久喜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第117号	平成25年度久喜市水道事業会計補正予算(第3号)について(建)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第118号	久喜市保育所条例の一部を改正する条例(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第119号	久喜市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第120号	久喜市国民健康保険出産費資金貸付条例の一部を改正する条例(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第121号	久喜市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例(教)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第122号	久喜市農業基本条例(教)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第123号	久喜市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例(建)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第124号	久喜市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第125号	久喜市地区計画区域内建築物等の制限に関する条例等の一部を改正する条例(建)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第126号	久喜市市営住宅条例の一部を改正する条例(建)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第127号	久喜市下水道施設に関する条例の一部を改正する条例(建)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第128号	久喜市下水道条例の一部を改正する条例(建)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第129号	久喜市水道給水条例の一部を改正する条例(建)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第130号	指定管理者の指定について(教)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第131号	指定管理者の指定の変更について(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第132号	久喜市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	同意

## ●11月定例会（議員提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	市民	
議員提出第8号	久喜市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
意見第7号	環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉からの速やかな撤退を求める意見書	×	×	×	○	○1 ×1	否決

## ●11月定例会（請願）

請願番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	市民	
請願第3号	来年4月からの継続家賃値上げ中止、高家賃引き下げを求める意見書提出に関する請願（建）	×	○	×	○	○	不採択

○ **人事議案** 下記の人事について議会の意見を求められ、同意しました。

### ●久喜市人権擁護委員

奈良 政利 氏（久喜市伊坂）

## 議員名簿

議席No.	氏名(会派)	常任委員会		◎委員長 ○副委員長
		予算決算	福祉健康	
1	渡辺 昌代（共産党）	予算決算	福祉健康	
2	石田 利春（共産党）	予算決算	建設上下水道	
3	木村 奉憲（共産党）	予算決算	総務財政市民	
4	杉野 修（共産党）	予算決算	教育環境	
5	梅田 修一（飛翔）	予算決算	建設上下水道	○
6	井上 忠昭（飛翔）	予算決算	総務財政市民	
7	大谷 和子（飛翔）	予算決算	教育環境	◎
8	上條 哲弘（飛翔）	予算決算	総務財政市民	
9	園部 茂雄（政策会議）	予算決算	建設上下水道	○
10	春山 千明（政策会議）	予算決算	教育環境	○
11	猪股 和雄（市民の政治）	予算決算	福祉健康	
12	田村 栄子（市民の政治）	予算決算	福祉健康	
13	齋藤 広子（公明党）	予算決算	福祉健康	
	—			
15	矢崎 康（公明党）	予算決算	福祉健康	◎
16	鈴木 精一（飛翔）	予算決算	総務財政市民	◎
17	並木 隆一（飛翔）	予算決算	建設上下水道	

議席No.	氏名(会派)	常任委員会		◎委員長 ○副委員長
		予算決算	教育環境	
18	鈴木 松蔵（飛翔）	予算決算	教育環境	
19	盛永 圭子（飛翔）	予算決算	福祉健康	○
20	柿沼 繁男（飛翔）	予算決算	教育環境	
21	富澤 孝至（政策会議）	予算決算	建設上下水道	◎
22	石川 忠義（政策会議）	予算決算	教育環境	
23	新井 勝行（政策会議）	予算決算	総務財政市民	
24	内田 正（政策会議）	予算決算	総務財政市民	
25	岡崎 克巳（公明党）	予算決算	建設上下水道	
26	足立 清（公明党）	予算決算	総務財政市民	○
27	戸ヶ崎 博（公明党）	予算決算	教育環境	
28	松村 茂夫（飛翔）	予算決算	総務財政市民	
29	青木 信男（飛翔）	予算決算	教育環境	
30	宮崎 利造（飛翔）	予算決算	建設上下水道	
31	大鹿 良夫（飛翔）	予算決算	福祉健康	◎
32	山田 達雄（飛翔）	予算決算	総務財政市民	
33	岸 輝美（飛翔）	—	福祉健康	
34	鎌田 忠保（飛翔）	—	建設上下水道	

## 本会議における討論

11月定例会の最終日に、議案5件、意見1件、請願1件に対し、延べ8人の議員が討論を行いました。討論とは、議案等に対して、表決の前段階において賛成又は反対の意を述べることをいいます。その概要を紹介します。

### 議案 第121号 久喜市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

#### 反対 杉野 修 議員 (日本共産党久喜市議団)

本議案は、し尿処理の手数料について、北本市に合わせ、消費税率の改正に伴って手数料への消費税転嫁をするものである。しかし、久喜宮代衛生組合では、し尿処理手数料に関して消費税分を転嫁していない。この内容では、同じ久喜市民の中に「負担の公平を欠く」状態を生むことになるので賛同できない。

### 議案 第131号 指定管理者の指定の変更について

#### 反対 渡辺 昌代 議員 (日本共産党久喜市議団)

鷺宮児童館学童クラブの環境が改善され、鷺宮学童クラブとなることは、大変喜ばしいことである。しかし、指定管理へ移行についての継続雇用の問題、議会の審議がしにくくなっている現状、5年契約では途中見直しができない、などは問題である。子ども達の安心安全が目的の学童保育は公営での責任を果たすべきである。

### 議案 第122号 久喜市農業基本条例

#### 賛成 猪股 和雄 議員 (市民の政治を進める会)

久喜市の農業を持続的に推進していくために農業基本条例の策定に賛成する。ただし前文で「農業を本市の基幹産業として育む」と規定しているが、久喜市の農業者数は1.8%、生産高は0.7%であり、基幹産業と言えるかどうかは疑問がある。今後、農業基本計画を策定していく上で、慎重に検討していくべきである。

### 意見 第7号 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉からの速やかな撤退を求める意見書

#### 反対 石川 忠義 議員 (政策会議)

日本がTPP交渉に参加する以前は、これへの参加に反対をしてきた。しかし、TPP交渉に参加した今は、撤退を求めるよりもむしろ重要品目の非関税化阻止など、国会決議を守り交渉を続けることを求めるべきだ。また、国益全体を考えれば、今の段階で速やかな撤退を求めることは疑問だ。従って、本意見書に反対する。

### 議案 第129号 久喜市水道給水条例の一部を改正する条例

#### 反対 石田 利春 議員 (日本共産党久喜市議団)

水道事業は市民の使用料によって成り立っている事業である。使用料に消費税を課すことはやめるべきである。市民の平均的負担額は上下水道で2,208円(20mm口径、年300㎡使用)全体では9858万円の影響がある。内部留保が41億円あり、水道料の値下げなど検討し、市民の暮らしを支えることが求められる。

#### 賛成 渡辺 昌代 議員 (日本共産党久喜市議団)

TPP交渉のこれまでの新聞報道では、重要5項目の政権公約が遵守できるとは言えない。すでに4月の日米事前協議では自動車分野での現状の関税を認める譲歩をしている。秘密保持条約は「国民へ情報提供をする」とした委員会決議、国会答弁にも反する。国会決議を守るのであればTPP交渉から撤退すべきである。

### 議案 第130号 指定管理者の指定について

#### 賛成 猪股 和雄 議員 (市民の政治を進める会)

体育施設及び都市公園の有料公園施設等の管理運営を指定管理者に行わせることが妥当であり賛成する。今回の指定管理者選考委員会で、11項目の審査項目について、1位と2位の事業者の優劣は付けがたく、総合得票も1点差であった。単に総得票数だけの比較でなく、より適正な選定基準を検討するよう求める。

### 請願 第3号 来年4月からの継続家賃値上げ中止、高家賃引き下げを求める意見書提出に関する請願

#### 賛成 木村 奉憲 議員 (日本共産党久喜市議団)

「良好な居住環境の住まいを確保し、安心して住み続けたい」がUR都市機構の居住者の願いだ。年金や就労者の賃金が下がり、多くの居住者は高齢化と収入低下が顕著だ。暮らしと地域コミュニティを守るうえでもこれ以上の家賃引き上げはやめるべきで、請願に賛成する。

# 市政に対する 一般質問

齋藤 広子 議員

公明党久喜市議会議員団

## 災害対策基本法一部改正を受けての取り組みについて

問 災害対策基本法の改正ポイント、全体像を見て当市の地域防災計画にどのように反映されているか。

答 ①住民等の円滑かつ安全な避難の確保②被災者保護対策の改善③平素からの防災への取り組みの強化がある。市の地域防災計画や関連する災害対応マニュアル等について、あわせて修正をしていく。

## がん対策について

問 がん予防として、学校におけるがん予防につながる学習活動の充実、推進も盛り込む必要があると考えるが、授業におけるがん教育の教材作成に取り組むのか。

答 色々な啓発資料がある。小学校と中学校両方に配布をして活用するように今後進めていきたい。

## 高齢者の肺炎球菌ワクチンについて

問 現在65歳以上の方で接種希望者に対し費用8,000円のうち3,000円を市が助成し自己負担が5,000円となっているが、肺炎球菌ワクチンをさらに普及していくために助成をさらにふやしていくことはできないか。

答 助成金額の増額につきましては、現時点では考えていない。

## その他の質問

◇障がい者雇用について ◇久喜市に子ども図書館の新設をについて



保健センター配布のチラシ

石田 利春 議員

日本共産党久喜市議団

## 市民の暮らしを守るためにも水道料の引き下げを

問 平成24年度決算で純利益が7億円、留保金も35億円から41億円と増加。引き下げ余地があると考えるが。

答 安心安全な水道水を安定的に供給するため、計画的な事業を実施。引き下げは考えていない。

問 10年間の事業を計画し値上げ率を決定した。事業の進捗に遅れは出ているか。

答 おおむね計画どおり進んでいると考えている。

問 消費税増税が予定されている。値下げの検討は。

答 安定的に供給するため引き下げは考えていない。

## 液化化被災者への募金、市民の願いは届いているか

問 久喜市独自の支援は、限度額100万円を支援する

事業。財源には市民からの寄附金1927万6023円と、栗橋ポートピアからの「環境整備協力費」3000万円が含まれ被災者の皆さんに届けてほしいとの願いが込められている。これまでの支援は対象件数125世帯に対し、受付件数55世帯(44%)金額では4421万7000円(35%)という状況。国の支援同様「基礎支援」など手当し、すべての世帯に届けるべき。

答 これまで同様周知していく。

問 被災者から今後申請がなければこのまま終了させてしまうのか。市長の姿勢が問われている。

答 最終的なことについては今のところ考えていない。



久喜市から寄付が呼びかけられました。(広報くきお知らせ版平成23年7月15日号から引用)

春山 千明 議員

政策会議

## さわやか相談員の業務実態と課題について

問 久喜市では、いじめや不登校などの対策の一つとして、生徒の立場に立った身近な相談員、「さわやか相談員」を全中学校に1人ずつ配置している。平成24年度1年間で相談延べ人数の一番多い学校は1,242件、1番少ない学校は14件だった。このようにさわやか相談員の業務実態は学校により大きく違うことがわかる。このデータから、相談件数の多い学校の実態を的確に把握し、教育相談事業としての課題改善を図るべき。そして相談員と学校、教育委員会がしっかりと連携し相談室登校や不登校の生徒を教室に戻すということを考えるべきだが、いかがか伺う。

答 相談室登校や不登校生徒の専門的なケアが必要な場合、相談員だけでなく、学校内の組織として対応する他、臨床心理士、訪問指導員、スクールソーシャルワーカー、福祉課などとの連携によって改善を図る。

問 農業発展には女性農業者の活力をさらに活かすことが大切で6次産業へ取り組むべきだがいかがか。

答 久喜市農業発展に女性農業者は欠かせない。女性ならではの発想が期待され、6次産業化は女性農業者の能力や活力を活かす場になる。

## その他の質問

◇公民館等での接遇向上 ◇市民食堂復活を ◇中央保育園改修 ◇さくら保育園保育計画



成田ファーム「時々夢工房」のジャム

木村 奉憲 議員

日本共産党久喜市議団

生活保護制度の改善と憲法25条について

問 今年8月に生活保護基準が引き下げられ、全国では来年分を含め670億円の受給額の減額となる。このため多くの関連の制度への影響が出ている。やっと最低限度の生活を維持している世帯にとって、深刻な状況だ。その影響額とその減額分はどの程度か。

答 久喜市内の最新の生活保護は1,069世帯、月平均



生活保護を申請する窓口

で571円が削減され、全体で61万円の削減影響。今年の生保受給者での影響額はない。

問 もっと影響があると思う。年末一時扶助の影響額も国全体で70億円の削減がある。また、障害者自立支援給付費、就学援助費支給事業など多くの他制度への影響で、本来支援されるはずの人が適用外となるケースがでる。同じ人口規模の北海道帯広市では51制度、年間約1億円の削減影響が出ている。

答 年末一時扶助もある。平均月3,745円の削減。また、関連する制度影響は久喜市でも46事業に上る。その具体的な人数、影響額は調査していない。

問 調査すべきだ。全体の影響額を調査して、市独自の支援策をとるべきだ。生活保護制度は憲法25条にも保障されている人間としての健康で文化的な最低限度の生活を保障しなければならないものだ。

答 改正は必要な措置。市独自支援策は考えていない。

石川 忠義 議員

政策会議

保育料滞納金の徴収を進めるべき。市の考えを問う。

問 保育園に子供を通わせる保護者の大多数はきちんと保育料を納めている。しかし、一部の保護者は定められた保育料を納めていない。滞納金の総額は、今年6月末時点で2700万円を超えていた。生活困窮世帯は減免制度を利用すべきだが、資力があるにも係らず納めない滞納金については、市は危機感を持って徴収に当たるべきである。今後の市の考えを問う。

答 今年の10月31日現在の保育園の保育料滞納の総額は、2830万4760円である。1人当たりの滞納額の最高は124万7880円である。滞納者の申出によって児童手当からの徴収もできるので、滞納者に案内をする。また、分納誓約や分納計画を出すよう指導する。今後は、

児童のお迎え時に、滞納者と納付の話をしていただき、高額滞納者には面談することも考える。収納課にも業務を移管し連携していく。

その他の質問

◇市内小中学校に猛暑対策として、計画的にエアコン設置を進めるべき

である。市と教育委員会の考えを問う。 ◇南栗橋液状化対策に関わる市と住民の負担について、市の考えを問う。 ◇市内の水害対策を計画的に進めるべきである。市の考えを問う。



保育園担当窓口

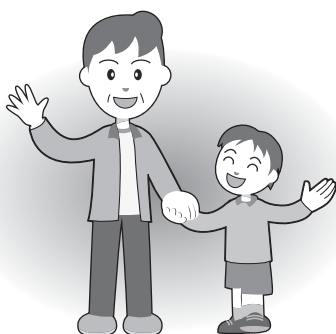
田村 栄子 議員

市民の政治を進める会

少子化を止める方策について

問 少子化を止めるためには、職場の男女の意識改革を行う必要がある。それには、中学校の家庭科教育も関係してくる。まず初めに本市職員から実践すべきである。

- ①女性職員の産休取得状況は。
- ②男女職員の育児休暇の取得状況は。
- ③男性の育休が取りにくい理由は。
- ④中学校家庭科の授業の共修の



実態は。

答 ①合併後平成22年度から毎年8人、13人、18人、25年度は現在までに9人。②女性の育休は11人、14人、25年度は現在までに10人。男性の育休は合併前と後に1人と2人。③各家庭の事情によるため。本市は当対策のため家庭と仕事の両立が出来、男女とも育休等を取りやすい環境整備に努めていく。④中学校家庭科で実際の乳幼児と触れ合える学校が7校ある。

管理職への女性登用について

問 ①当市の女性管理職の状況は。②女性管理職の少ない理由は。③女性管理職を増やすには。

答 ①管理職（部長級～課長補佐級）の女性を男性と比較すると、平成22年度から毎年9.8%、10.7%、12.9%、13.9%の割合。②女性職員の昇任希望は8.0%で男性は27.1%。仕事や家庭の位置付けによるとみられる。③女性の多様な能力や様々な個性を活かし、組織を活性化させていく課題があると認識している。

## 市政に対する 一般質問

鈴木松蔵 議員

飛 翔

### 道路整備、市道久喜3号線の整備をどう進めるのか

問 市道久喜3号線のJR宇都宮線東側、備前前堀までは道路が民地、畑に1.2mぐらい食い込んでいる。このことは以前道路台帳整備の時、明らかになったものであり、市当局も十分承知している。また道路に沿った用水路側150mであるが、用水路から幅1mぐらいは道路と言えない状況である。市にある道路台帳で



市道久喜3号線の現状

確かめたところ、この部分は1.8m部分が多いが、しかし1.24mすなわち4尺道路の部分も少ない。地域として道路愛護月間などにおける除草作業などを行っているが、この用水路沿いの部分の除草作業は大きな負担となっている。どう整備を進めるのか伺う。

答 道路が民地に食い込んでいる箇所については相当あると考えている。解決方法としては境界を明確にして道路敷用地を通行していただく、または道路を拡幅することで、現状を見ながら対応していく。北青柳地内のJR宇都宮線東側から備前前堀までの市道久喜3号線については道路幅1.8mほどの道路である。沿線の田畑の耕作する方々が利用している道路である。部分的に用水路が平行し、農耕車や車輛が通行する際用水路への転落を避けるため民地部分を利用している。当該道路の整備については、緊急性、必要性、安全性、あるいは地域性を総合的に勘案しながら検討していく。

鈴木精一 議員

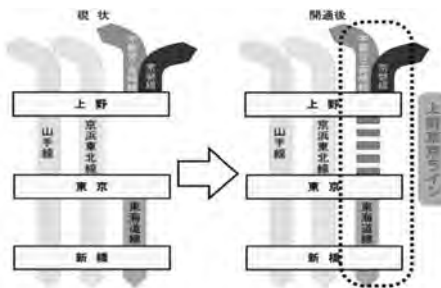
飛 翔

### 東北縦貫線開業に向けて

問 久喜駅から東京駅まで乗り換えなしで結ばれる東北縦貫線の開業予定まで1年半を切った。開業後は東海道本線への直接乗り入れも実現する。開業に向けた市の対応を伺う。

答 平成26年度の開業に向けて、東北縦貫線の工事は順調に進んでいる。開業後は東京駅や東海道本線への直接乗り入れが実現する。抜本的なダイヤ改正も予定されており、市民の皆様の利便性が現状よりも飛躍的に向上する内容になるよう、JR東日本に対し要望活動を行っている。更に、始発列車及び最終列車を古河駅発着とすること、始発列車時刻の繰り上げ及び最終列車時刻の繰り下げ、東武日光線に乗り入れる特急列

車の栗橋駅停車等も要望している。今後は、これらの要望が実現できるよう、その時々々の状況等に合わせ要望事項を厳選し、効果的な活動になるよう取り組んでいく。



上野東京ライン開通後の輸送体系  
(JR東日本ホームページから引用)

問 東北縦貫線開業時に合わせたセレモニー等についての考えは。

答 現時点では考えてないが、広報紙、ホームページを通じて、開業に関するお知らせをしていく。併せて、特徴ある時刻表などの作成、配布を検討していく。

**その他の質問** ◇観光ボランティアガイドなど

岸 輝美 議員

飛 翔

### 防災士の養成について

問 続く異常気象、首都圏直下型や南海トラフ大地震と、いつ大災害が起こるとも知れぬ状況にある。阪神淡路大震災の教訓から生まれ、地域にあって災害発生時に大切な役割を果たす防災士の養成が求められている。防災士の認識と評価を伺う。

答 防災士とはNPO法人日本防災士機構によ



って認証された防災に対する知識や技能を有する者、平常時には地域の防災活動に取り組み、災害時には避難誘導や救護に当たるリーダー的存在。

問 認識のみで評価が欠けている。評価を伺う。

答 現在市では活動がなく、評価する段階にない。

問 市の防災士数と活動状況を伺う。職員・民間人等

答 市職員1名、久喜消防署職員2名、他は把握していない。

問 絶望的数字、防災士の養成を推進すべきだが。

答 市では自主防災組織の組織化をまず優先させたい。防災士については周知を図るとともに、資格取得について啓発していきたい。

問 多くの自治体で様々な支援策を講じている。埼玉県が主催する「防災リーダー養成講習会」を、すでに他県に実例もある、防災士養成として実施するよう要請する考えはあるか。

答 もしそういうことであるならば要請していきたい。



渡辺昌代 議員

日本共産党久喜市議団

各小中学校へスプリンクラー、エアコンの設置を

問 今年の夏は猛暑が続き、学校の教室は30度以上の日が続いた。子ども達の学習環境は劣悪と言える。この異常気象が続く中、教育環境の整備は早急に必要である。計画的に空調機を整備すべきと考えるが。

答 エアコン設置は、猛暑対策に有効であると認識している。



夏は暑くなる学校の教室

松村茂夫 議員

飛 翔

衛生組合の解散と平日夜間救急について

問 衛生組合の解散について、合併後の衛生組合は、市内の3炉間で補完ができないなど、多くの不合理がある。こうした課題が解決できないなら、組合を解散して市独自のごみ処理を確立すべきだが。

答 衛生組合は、合併以前の処理形態を継続することで宮代町と合意している。今の体制がベストとは思っていない。市のごみ処理行政について、できるだけ早くその検討について結論を出すような形にしなければならないと考えている。

要望 解散含めて宮代町と早急かつ本気で話し合っていたきたい。

平日夜間診療所の開設に向けて

学校の実態把握と調査研究を引き続き行う。

問 今年救急搬送された例はあったのか。また、そこまでいたらなくとも熱中症と診断された人数は。

答 救急搬送された児童生徒は7名。熱中症と疑われた児童は22名、生徒は18名報告されている。

要望 それらもしっかり考慮して検討してほしい。

問 これから冬場は校庭の砂埃対策が必要だ。スプリンクラーがない学校には計画的に設置すべきだが。

答 現在34校中31校に設置されていない。これまで、散水栓や防砂ネット、芝生化など取り組んできたが、今後も砂埃の発生状況をふまえて対応していく。

その他の質問 ◇障がい福祉費の生活サポート事業について不用額の改善と予算の増額を ◇久喜駅前タクシープールの使用は公平なルールを提案すべき。 ◇災害時におけるペットの救護対策ガイドラインについて、同行避難訓練の取り組みを。 ◇特別支援体制についてしっかりとした巡回指導体制と指導員の増を。

問 一次救急は市の役割である。休日夜間はあるが、平日夜間がないので拡大して実施してはどうか。医療資源の効率化にもなり、市の主導でどうか。

答 6市2町で初期救急の体制整備について協議している。平日夜間診療もこの課題に対する一方法と考える。調査・研究して行きたい。

要望 場所は久喜総合病院を活用し、医師会先生方の当番制で是非実現させて欲しい。地域医療の視点から行政が強いリーダーシップで、具体的な話し合いを早急に行っていたきたい。



久喜宮代衛生組合 ごみ焼却処理施設

戸ヶ崎 博 議員

公明党久喜市議会議員団

敬老祝金について 他

問 敬老祝金については合併協議に基づいて支給されている。しかし例えば77歳で久喜市は5千円、加須市は2万円、88歳で久喜市5千円、加須市は5万円である。旧騎西町と旧菖蒲町は接近しており、道を挟んで余りにも差がある。見直しの声があるがどうか。

答 合併前旧菖蒲



敬老祝金(左が白寿用、右が喜寿、米寿用)

町では77歳3千円、88歳で5千円、旧栗橋町では77歳5千円、88歳1万円などとなっていた。合併協議で旧久喜市の例により調整し現在に至っている。加須市は県内の中でも突出する高額な金額になっている。本市としては適当な金額と考えている。

問 障害者優先調達推進法の取り組みについて、本年4月にこの推進法が施行された。その取り組みについて及び調達推進マニュアルの策定について伺う。

答 久喜市の物品等の調達方針を本年5月に策定し目標額を設定したところである。庁内各課に対して県のホームページの活用と市内の事業所と連携し調達の推進を図っていく。久喜市は県内でも早期に方針を策定したので他市町からの問合せが多数ある。

問 本多静六博士の生誕地として、久喜市が緑の発信地となる計画をすべきと考えるがどうか。

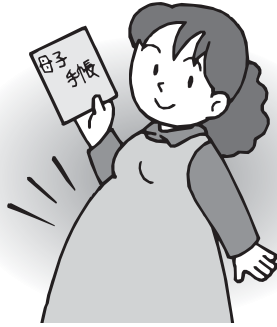
答 今後のワークショップ及び関係課による庁内会議の検討課題に加え新たな緑の基本計画に活かしていく。

矢崎 康 議員

公明党久喜市議会議員団

保育園の保護者の育児休業取得時の対応について

問 保育園に子どもを預けている保護者が2人目以降の出産後、育児休業を取得した場合、家庭で保育が可能であることから、既に入所している上の子は原則退所させられている。2人目、3人目と出産することができる環境づくりが重要であり、少子化問題の解決にもつながる。保護者の願いであり、



安心して子育てできるようにするために、育児休業取得の場合も継続入所を認めるべきと考えるが。

答 現在育児休業取得時における継続入所についての検討を行っている。平成26年度当初から実施できるよう調整していきたい。

学校の通学路安全対策について

問 通学路の安全確保については、PTAや地域住民の皆さんには関心が高く、地域で情報を共有することはとても重要である。平成23年度に実施された通学路緊急点検結果の取り組み状況の公表（ホームページ）の進捗状況は。

答 本年5月に関係機関の調整会議において協議をし、点検結果をもとに調整を行い、12月2日に市のホームページに公表をした。

その他の質問 ◇市道栗橋679号線グリーンベルト設置について

岡崎 克巳 議員

公明党久喜市議会議員団

防災対策について 他

問 業務継続計画（BCP）は、災害発生時に短時間で重要な機能を再開し、業務を継続するために、対応方針を計画し策定するもの。市の取り組みを伺う。

答 現在、情報整理シートを作成している。平成26年1月の計画策定に向け、作業を進めている。

問 特別警報、竜巻の地域防災計画への対応は。

答 現在の計画には反映されていない。国・県の修正を踏まえ、今後の見直しの中で検討する。

問 避難所マニュアルの作成状況は。

答 平成25年1月に、班別行動マニュアルと合わせ、避難所管理運営マニュアルを整備した。7月には福祉避難所マニュアルを整備した。

問 医師会が行う、エマルゴトレーニング研修の職員参加と研修支援を検討すべきだが、どうか。

答 平成25年3月の研修には、医療救護班担当職員が参加し、防災担当職員が見学をした。今後、この研修は市の公務として参加し、支援や協力をする。

道路整備について（国央道側道と平沼・和戸線）

問 側道の橋の概算費用と平沼・和戸線の延伸整備は。

答 側道の橋の費用は、概ね30億円。東停車場線の整備に着手したが、平沼・和戸線は周辺の道路ネットワークを考慮すると、側道よりも優先して整備する。

- エマルゴトレーニング…スウェーデンの災害医療・外傷学教育研究センターが開発した災害医療の教育訓練システム。ボード上に配置された患者やスタッフのマグネットを移動させながら、実際の時間軸に沿って患者の搬送や処置の判断を行う机上訓練
- 平沼・和戸線…通称「けやき通り」
- 東停車場線…通称「久喜駅東口大通り」

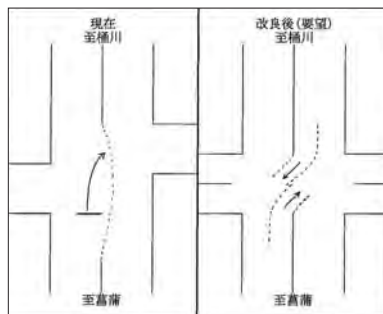
盛永 圭子 議員

飛 翔

小林交差点の改良について

問 県道川越・栗橋線と市道の交差する小林交差点は、変則的な十字路である。道路中央の右折帯は上り線のみである。交差点の改良は旧菖蒲町の時から改良してほしいと強い要望がでていた。改良の予定を伺う。

答 杉戸県土整備事務所に確認をしたところ、小林交差点改良事業



小林交差点

の予定は、平成26年度から用地買収や物件補償など個別交渉に順次着手していく予定である。

国央道パーキングエリアの運営方針について

問 菖蒲パーキングエリアが当初の計画より倍の広さになり、商業施設ができる予定と伺った。地元特産物の販売や久喜市のPRができるような施設を作り、地域の活性化を図ってほしいという強い地元からの要望があった。市の考えは。

答 パーキングエリア内の施設の設置については、梨や苺、プラムや野菜類など地域の特産物の販売が可能となるような施設の設置や、外周の一般道路からのパーキングエリアへの出入口の整備などについてお願いしてきた。

問 要望してきてどうなったのか伺う。

答 市も地域の皆さんと同じ方向を向いて国と話合っている。引き続き国やネクスコ東日本と交渉し、お願いしてまいりたい。

青木信男 議員

飛 翔

圏央道パーキングエリアについて

問 圏央道が決定した時点で旧菖蒲町議会では圏央道特別対策委員会を設置し、パーキングエリアについては、一般道から入れるよう建設してもらいたいと国土交通省に申し入れをした。旧菖蒲町から久喜市へ引き継がれているのか。

答 菖蒲パーキングエリアについては、財政上の理由などから平成20年8月に平成34年までの先送りを決定しており、さらに平成21年6月にはこの計画の無期延期と整備計画方針を変更し現在に至っている。合併時における調整方針においても、現状のとおり新市に引き継ぐこととされているため、旧菖蒲町当時の計画に見直しをすることはできない。

菖蒲市街地の公共下水道の整備計画について

問 菖蒲市街地5区、6区、13区の公共下水道の本管工事の計画性について伺う。

答 菖蒲地区においては、5区、6区、13区における市街化区域



菖蒲5区地下下水道本管工事

は全て下水道の事業認可区域となった。5区は平成24年度より工事に着手し、市道菖蒲1318号線を中心に整備を進めている。6区は平成25年度より工事に着手し、市道菖蒲1285号線の工事を実施している。13区の整備については5区、6区の整備状況を勘案しながら整備時期について検討してまいりたい。

富澤孝至 議員

政策会議

菖蒲総合支所5階の本多静六記念館の充実

問 オープンから7か月以上が経過したが、来場者数は。

答 12月3日に1万人目の来館者を迎えた。

問 何度も来館したくなる取り組みが必



菖蒲総合支所にある本多静六記念館の案内看板

要である。全国育樹祭で使われた備品等を記念館で使ったり、展示品の入れ替えが必要だ。

答 育樹祭で使われた博士の肉声や台本等は、記念館で所有した。また、首かけイチヨウを模したイチヨウの大木は県の協力を得て市に譲り受けた。展示内容等の見直しも行い施設の充実を図る。

問 目につきやすい、記念館のある5階の窓等に「本多静六記念館」と表示することはできないか。

答 今年度中に、5階の壁面を活用し表示する。

シティプロモーションの戦略的な情報発信

問 推進に当たっては、市民、企業や団体、大学等が一体となった「オール久喜」の体制で推進し、シティプロモーション認定事業を認定し、市が全面的に支援するべきである。

答 実効性あるものにするため、関係する全ての人が共通認識のもと全市的な推進体制を目指す。また、認定事業は効果があるため、今後検討する。

猪股和雄 議員

市民の政治を進める会

ひとり親家庭に寡婦控除を区別なく適用すべき

問 所得税の寡婦（寡夫）控除は市民税額や保育料の算定に反映される。離婚や死別のひとり親家庭には適用されるが、未婚や非婚の場合には寡婦控除が適用されないの、保育料が高くなってしまふ。同じひとり親家庭で、低所得という条件が同じなら、寡婦控除を「みなし適用」するべきでないか。

答 子育て支援や非婚のひとり親家庭の自立支援の観点から研究し調査してみたい。

要望 新年度実施の方向で検討していただきたい。

市役所本庁等に傘袋の設置を

問 市民に降雨時にも気持ちよく利用してもらうために、市役所本庁舎などに傘袋を設置してはいかがか。

年間数万円の費用やごみが増えるデメリットはあるが、メリットの方が大きいと考えられる。

答 本庁、支所などにできるだけ早く設置したい。

その他の質問 ◇行政委員会委員の月額報酬は、会議出席等の実績に応じ支給すべき◇職員用パソコンに無料オフィスを導入しているが、マイクロソフトとの互換性に問題があり慎重にすべき◇障害者差別解消法が公布された。3年後の法施行前に準備を進め、職員対応要領の策定、公共施設の構造改善、設備整備等の計画を策定し、積極的な取り組みを進めるべきである。



質問の1週間後、傘袋が設置された

杉野 修 議員

日本共産党久喜市議団

鷺宮運動広場の雨水排水機能の改善を

問 当施設は、地域の体育祭や野球、また防災訓練など鷺宮地域コミュニティの中心である。しかし、いわゆる「水はけ」が悪く、主要行事が中止になることも多い。元の機能はどうなっているのか。



鷺宮運動広場

答 排水溝が周囲にあるが、長年、風で土ほこりが飛んできて

溝が土で埋まっている。

問 速やかな改修を求めるがいかがか。

答 周辺部より低くなっているので、かさ上げやポンプによる排水の手段もあるが大改修になる。当面は、必要に応じて土砂を取り除いていく。

若者世代の定住に向けて抜本的な促進策を

問 合併後、これまで1,700人以上の人口減になっている。40歳未満の方に絞って「若者定住促進奨励金」制度や、「若者就職家賃補助」制度を創設してはどうか。また、子ども医療費の補助を高校卒業まで、他市に先がけて拡大すべきではないか。

答 新市になってからの人口減少は、深刻に受け止めている。しかし、ご提案の制度実施によってどれほどの効果があるか測れない。実施は考えていない。

要望 やる前から可能性にフタをしてはだめではないか。市として定住促進の部署をつくり、やれることは何でもやるくらいの気構えが欲しい。要望する。

大谷 和子 議員

飛 翔

ゲリラ豪雨時の冠水箇所の改善について

問 ゲリラ豪雨で浸水の被害を受けている箇所に対する調査と改善策は。浸水被害の軽減策として、排水機能を持った調整池設置ができないのか。また情報発信により減災意識を高めることは考えているのか。

答 冠水箇所の調査を行い、被害の解消方法について検討を行っている。改善策として、道路のかさ上げ、水路の補修や浚渫などを実施してきた。大雨の予報時には、事前に道路側溝や集水ます等の点検、排水ポンプの動作確認、水路ゲートの開閉作業を行うなど、被害の予防や軽減に努めている。調整池の整備は、冠水解消対策の一つだが、調整池の整備には、用地や多額の前算が必要なことから難しい。台風やゲリラ豪雨な

どで市が警戒態勢を配備した場合に警戒態勢の配備状況や気象情報、道路冠水による通行止め等の情報を市ホームページ、ツイッター、フェイスブック、安全・安心情報メールで情報提供するよう調整した。今後も防災・減災意識の高揚につながるよう情報を提供する。



東鷺宮駅北側、ウエストハイツ周辺

栗橋地区の中学校の給食を久喜市内で作れないか

問 市外民間委託だが市内で作る給食に出来ないか。

答 学校給食審議会の中で、地産地消の推進とともに審議していただき給食の提供を総合的に検討し、対応したい。

並木 隆一 議員

飛 翔

学校給食問題について

問 合併後も、久喜市の学校給食は、民間委託方式、給食センター方式、自校調理方式に分かれている。平成24年度決算資料によると、1食当たりの賄材料費を含めた経費は、全農639.1円、行田福祉センター462.9円、菖蒲学校給食センター636.7円、鷺宮学校給食センター472.2円である。では、自校調理方式を採用している栗橋地区の小学校ではいくら経費がかかっているのか。

答 栗橋地区の小学校では、光熱水費や燃料費の学校給食費にかかる経費は確定できず、減価償却費も計上しておらず、算出できない。

問 学校給食審議会に学校給食の有様について諮問し

ている。委員の方々もかかる経費や財政的な面について苦慮されているが、何を根拠に議論すればいいのか。答 費用対効果を考えながら、教育委員会でも総合的に検討していく。

公共施設やインフラの老朽化対策について

問 公共施設やインフラの良好な維持のための更新計画、更新投資計画策定の考えは。

答 公共施設の現況をまとめた「公共施設白書」の作成に取り組んでいる。その後、「公共施設基本方針」を策定し、将来的には施設の再配置計画等に取り組んでいく。



老朽化する鷺宮学校給食センター

宮崎利造 議員

飛 翔

未整備農地の土地改良基盤整備対策について

問 旧久喜地区の太田地区の未整備地について、未だ土地改良事業が行われず、明治以前のままの未整備な農業地域がある。市はこのような農地の土地改良、基盤整備をどのように考えているのか。

答 未整備地域の農地は農用地区域以外となっている農地が多い状況であり、国や県の補助事業の採択とはならず、土地所有者と市で全ての事業費を負担する必要があることから結果的に実施されず、未整備のまま現在に至っている。現在の厳しい財政状況では国や県からの補助金の活用が前提でなければ土地改良事業の実施は難しいものと考えている。

公共施設のトイレの洋式化の計画的整備について

問 現在、公共施設では、和式のトイレがまだ多く見られる。早急に改修を進めるべきだが、今後の整備改修計画について伺う。

答 耐震改修工事や改修工事の設計を実施している施設では洋式化の計画があるが、他の施設では現在のところ計画はない。施設の新築、改築や他の改修工事などの計画にあわせて洋式化を進めてまいりたい。利用者によっては洋式トイレになじめない方もいることから、和式トイレの利用にも配慮しながら改修工事を行う際には、洋式化を進めてまいりたい。



公共施設のトイレの洋式化

園部茂雄 議員

政策会議

救急医療の体制の充実について

救急医療については、平成25年9月に東部消防本部にタブレット端末が先行導入され、病院側も朝夕の情報入力を積極的に更新するようになった。この救急医療情報システムは、来年4月に埼玉県全域に導入される予定であり、更に救急搬送時の病院検索が向上す



広報くき（平成25年9月1日号）から引用

ることが期待されるものである。一方で東部北地区の自治体としても、救急医療体制については、早急な改善策や支援策が待たれている。

問 利根医療圏の人口10万人当たりの医師数を伺う。

答 平成22年調査から集計すると111.9人である。

問 東部北地区輪番病院の連絡協議会進捗状況を伺う。

答 協議内容は近々まとまる。その内容に注目したい。

問 自治体間の協議内容と課題の進捗状況を伺う。

答 救急医療の適正利用の一斉啓発と輪番病院の補助制度（受入状況を加味する）見直しを検討中である。

問 三次救命救急センター指定状況と市の関与を伺う。

答 救急科専門医の確保が課題の状況に変化なし。市としては病院側の対応を注視している状況である。

要望 医師確保への積極的な取組、拠点病院支援事業の対応を要請、更なる救急医療の適正利用の啓発。

その他の質問 ◇緊急情報の発信体制について ◇自転車のマナー向上と「改正道交法」について

梅田修一 議員

飛 翔

ふるさと納税の推進について

問 久喜市のふるさと納税に対する認識と評価について伺う。

答 久喜市のまちづくりに寄附という形で応援をしていただくもので、市の貴重な財源収入の一部となっているものと認識している。

問 合併してからこれまでの久喜市のふるさと納税の実績について伺う。

答 平成22年度から平成24年度までの決算状況について、平成22年度3件、31万円、平成23年度4件、18万円、平成24年度4件、36万5,000円となっている。

問 近隣自治体のふるさと納税の取り組みと比較して、久喜市の現状認識について伺う。

答 返礼品のある自治体と礼状のみの本市を比較すると、返礼品の有無や内容などにより、寄附の件数、金額に大きな差が生じている自治体もあれば、本市とあまり差のない自治体もあるという状況である。

問 ふるさと納税をしていただいた方への特典に対する考え方について伺う。

答 寄附に対する特典については、寄附件数や金額を増やすための一つの手段であると認識している。今後、本市においても寄附の本来の目的やあり方を踏まえつつ、返礼品等の活用について検討してまいりたい。



足立 清 議員

公明党久喜市議会議員団

久喜市シティプロモーション事業の創設について

問 平成24年2月議会で久喜市シティプロモーション事業の創設について提案した。この事業は、久喜市が有する地域資源の魅力とブランドイメージの確立を図り、地域物産の販路拡大や観光人口の拡大、さらに新規企業誘致など、そのメリットは大きく、魅力的な事業である。地域経済活性化のために、地域の資源や地域の魅力を最大限活用した地域振興施策の積極的な取り組みを行政主体で取り組んでいく必要がある。現在まで取り組まれてきた市のシティプロモーション事業計画の進捗状況について伺う。

答 現在、指針となる久喜市シティプロモーション推進指針が概ねまとまってきた。その推進指針の案では、

久喜市が有する地域資源や新たな魅力の発掘に努め、その魅力を戦略的かつ効果的に市内外に情報発信していくことで市のブランドイメージの確立を図っていくものである。シティプロモーションを積極的に推進することにより、特産品のブランド化による販路拡大や観光交流人口の増加、企業誘致の促進といった効果が期待できる。今後、推進指針に基づく具体的な取り組みをスタートさせ、市民や企業、関係団体等との連携を図り、久喜市のイメージを高め、地域の活性化につなげてまいりたい。



井上 忠昭 議員

飛 翔

医療問題について

問 一日でも早く第3次救急、救命救急センターになるよう、久喜市としても全力で取り組みをして頂きたいと繰り返し質問をしている。多くの自治体が市民病院を持って、財政的に苦しんでいるなかで、久喜市は救急という不採算部門、本来公的な部門を民間病院に担って頂いている。これを単に自助



済生会 栗橋病院

努力でと言えるか。運営費補助はしないとの方針にあるが、出来る支援を考えることはインフラ整備の要素が強いのではないか。

答 済生会栗橋病院が第3次救急を目指すことにつき努力されていると理解している。運営費については、まずは自助努力でお願いしたい。センター指定の動きが膠着している要因は、財政的側面より医師確保と伺っており、その面で出来る協力をしていきたい。

要望 県は短期的な目標の中でセンター化を進めているが、見通しが立っているわけではない。現実には医師も辞めているし、そう簡単に医師が確保出来るものではない。その前提条件で、医師確保はもうインフラ整備でもあるとの視点に立って、市として出来ることは何かということをきちんと考えてほしい。この地域の「救急」、この地域の「医療」を整えるため、市は何が出来、病院は何を求めているのかを話すべき。望んでいるだけではセンターは出来ない。

市議会をインターネットで!



市議会の本会議をインターネット中継します。また、録画もご覧いただけます。



インターネット中継 閲覧件数 (平成25年10月~12月利用分)

月	ライブ映像閲覧件数	録画閲覧件数
10月	203件	320件
11月	159件	221件
12月	1,907件	663件

久喜市議会のホームページからリンクしています。  
<http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html>

## 委員会の活動

### ○福祉健康常任委員会において、中央保育園とあおば保育園を現地視察しました。

11月14日に、老朽化した公立保育所の現状について調査するため、福祉健康常任委員会による現地視察を実施しました。

老朽化した公立保育所の現状について、担当課より説明を受け、質疑の後、現地視察を行ないました。



あおば保育園



中央保育園



JR高崎線交差部

### ○圏央道対策特別委員会において、行政視察しました。

11月15日に、圏央道の進捗状況等について調査するため、圏央道対策特別委員会による現地視察を実施しました。

JR高崎線交差部にて、国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所の専門官から、現状についての説明及び視察を行った後、桶川インターチェンジと上越新幹線交差部の工事現場の視察を行いました。

### ○建設上下水道常任委員会において、南栗橋地区液状化対策実証実験現場を視察しました。

12月13日に、南栗橋液状化対策の状況について調査するため、建設上下水道常任委員会による現地視察を実施しました。

南栗橋地内の地下水位低下工法実証実験現場にて、担当課より説明を受けた後、質疑を行い、課題の把握に努めました。



地下水位低下工法実証実験現場

## 請 願

- 来年4月からの継続家賃値上げ中止、高家賃引き下げを求める意見書提出に関する請願  
わし宮団地自治会 会長 山川 誠

### 本会議傍聴者数

期 日	内 容	一般傍聴者数
11月28日	委員長報告、議案上程	1人
12月4日	市政に対する質問	8人
12月5日	市政に対する質問	20人
12月6日	市政に対する質問	5人
12月9日	市政に対する質問	10人
12月11日	議案質疑、議員提出議案上程、委員会付託	6人
12月24日	委員長報告、議員提出議案質疑、討論・採決、閉会中の継続審査	4人
計		54人

### 委員会傍聴者数

期 日	内 容	一般傍聴者数
12月9日	議会運営委員会	0人
12月11日	議会運営委員会	1人
	予算決算常任委員会	0人
12月12日	総務財政市民常任委員会	0人
	総務財政市民分科会(予算決算)	0人
12月13日	建設上下水道常任委員会	3人
	建設上下水道分科会(予算決算)	0人
12月16日	教育環境常任委員会	0人
	教育環境分科会(予算決算)	0人
12月17日	福祉健康常任委員会	1人
	福祉健康分科会(予算決算)	1人
12月24日	予算決算常任委員会	1人
	議会運営委員会	1人
	議会運営委員会	0人
計		8人

## 陳 情

- 陳情書(生活保護費受給者の家賃直接支払いに関する件他) 堀野 眞孝
- 地球社会建設決議に関する陳情書 荒木 實
- 学校薬剤師の待遇改善を求める陳情書 根本 昌子

### 議会を傍聴してみませんか



- 市議会は皆さんが自由に傍聴できます。  
本会議 定員50人  
常任委員会、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会 定員15人
- 手話通訳をご希望の方は、事前にお申し込みください。日程等については、ご相談に応じます。
- 問合せ 議会事務局 TEL 0480-22-1111  
議会傍聴に関すること(内線5114、5115)  
手話通訳に関すること(内線5112、5113)  
FAX 0480-21-6061
- 議会のホームページでも傍聴についてご案内しています。

### 議会の詳細は「会議録」で



議員の発言内容を詳しくお知りになりたい方は、市役所(議会事務局)、各総合支所、市立図書館、公文書館で「会議録」が閲覧できます。また議会のホームページからも「会議録」の検索・閲覧ができます。ぜひご利用ください。

なお、11月定例会の会議録は校正事務の都合上、閲覧・ホームページへの掲載は、1月下旬頃になります。

## 編集後記

野球でも打率3割を超えるバッターは、なかなかおりません。  
ある講演会での市長の話のなかで、市民への特定検診などの受診率が、30%を超えることがなく、健康行政が市民に普及していかないとおっしゃっておられました。他の様々な市民参加の事業でも、同様であると。  
思い出すと、『マーフィーの法則』といわれるものではないかと思えます。『マーフィーの

法則』とは、簡単に言うと「営業マンが仮に10人いると、売上の70%は3人でつくってしまう。得意先の30%で、売上は70%できてしまう。」ということです。  
この議会だよりも、30%の市民の皆様が見ていただければいいのかな、とも思いますが、やはり多くの方に読んでいただきたい、そういう思いでメンバー、一同つくっております。(並木)

## 広報委員会委員

- ◎ 齋藤 広子
- ◎ 園部 茂雄
- 石田 利春
- 井上 忠昭
- 大谷 和子
- 田村 栄子
- 並木 隆一
- 盛永 圭子
- 内田 正
- 鎌田 忠保
- 岡崎 克巳

(◎委員長 ○副委員長)